

## 令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告

### 1 組織

- (1) 都立大島高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、教務主任（＝事務局長）、生活指導主任 計3名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務担当）、主任教諭（生活指導担当）、進路指導担当（教諭） 計6名
- (4) 協議委員  
倉田和昭 大島町教育委員会文化課長、藤本 達 大島町立第一中学校副校長、  
土屋克幸 大島マリンサービス株式会社総支配人、関浩 警視庁大島警察署防犯係  
担当係長、川口知郎 青少年委員、黒米明子 大島町民生児童委員 計6名

### 2 令和5年度学校運営連絡協議会概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1回～第3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和5年 6月22日（木曜日） 内部委員 6名、協議員 5名  
協議委員委嘱、委員紹介、学校運営連絡協議会開催予定の調整、本校の現状報告、  
学校経営計画、意見交換、事務連絡
  - 第2回 令和5年 11月30日（木曜日） 内部委員 6名、協議員 4名  
本校の活動報告、学校評価アンケートの内容検討、意見交換、事務連絡
  - 第3回 令和5年 2月 8日（木曜日） 内部委員 6名、協議員 4名  
本校の活動報告、学校評価アンケートの集計結果報告、意見交換、事務連絡
- (2) 評価委員会の開催日時
  - 第1回 令和5年 11月30日（木曜日） 内部委員 6名、評価委員 2名  
学校評価の基本方針の確認、学校評価アンケートの目的、評価の観点と内容及び文面  
の確認、実施方法及び期間の確認
  - 第2回 令和5年 2月 8日（木曜日） 内部委員 6名、評価委員 2名  
学校評価アンケートの集計結果の分析及び考察と昨年度のデータとの比較及び次年度  
への課題の検討

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」、「学校経営の評価」、「学校に対する満足度」の観点で評価する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・ 12月 全校生徒 対象：9名 回収：8名 回収率：88.9%
  - ・ 1月 保護者全員 対象：8名 回収：5名 回収率：62.5%
  - ・ 1月 地域・住民 対象：30名 回収：15名 回収率：50.0%
  - ・ 12月 教職員 対象：8名 回収：8名 回収率：100.0%

(3) 主な評価項目

学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動、広報活動などの評価項目を、学校実態に合わせて適宜設定した。

(4) 評価結果の概要及び分析・考察

①生徒

昨年度と同様に肯定的な回答であった。生徒はコミュニケーション能力がついたと実感している。自由記述は特になかったが、本校の一人一人を大切にされた教育の中で、日常的に意見が述べられていると思われる。今後も少人数教育の利点を活かした教育活動を続ける。

②保護者

学校教育に協力的で、肯定的な回答が圧倒的に多かった。自由記述では「卒業式の様子」「入学させて良かった」等の意見があった。昨年度の回答率が100%であったので、回収率が若干下がっている。

③教員

おおむね肯定的な回答であった。設問15「学校はワークライフバランスの実現に積極的に取り組んでいると思いますか」に対し肯定的な回答が多かった。ほとんどの教員が有給休暇を15日以上取得している。また、設問4「分かりやすい授業ができていますか」に対して全ての教員が肯定的な回答しており、生徒も肯定的な回答になっている。今後もわかりやすい授業を継続する。

④地域の方

大島における定時制の存在や島外からの入学生がいることは認知されており「大島支庁や町役場でも定時制のポスターを見たことがある」という設問でも「はい」が増加して80%となっている。自由記述に授業公開に参加した小学校の教員のことにも記入されており等、本校の教育に期待を寄せてくださっていることが分かった。アンケートをとおして、地域の方の声に耳を傾け、学校経営に活かしていく。回答率は昨年度の73.3%から50.0%と下がったので来年度は広報活動の充実に力を入れて回答率が80%を超えるように努力していく。

⑤全体

昨年度からMicrosoft Formsを使った方式をとった結果、生徒、保護者、教員からの回答率が高い数値になったが地域の方々にはまだ不慣れなところもあるので回答方法を示すなどの工夫をして継続的に情報を発信していく。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

・定時制課程生徒の生活の様子を学校から伝えるとともに、委員から情報を得ることができ、連携して生徒の育成を図ることが確認できた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

・定時制課程の活動が概ね伝わっているが、今後も継続する必要がある。  
・大島町の中で小中学校の人間関係が変わらないため、諸問題があった場合進学しても人間関係が変わらず悩む生徒もいることが分かった。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項(学校経営計画へ反映)

(1) 学校運営

- ・海浜清掃や夜間パトロールなど、地域との連携事業については機会を捉えて幅広く持ち、給食試食会などで開かれた定時制をアピールする。
- ・さらなる教育活動の充実を目指して教員個々の教育力を高める。

(2) 学習指導

- ・進路に合わせた個別指導を組織的、継続的に実施する。
- ・アクティブラーニングの視点に立った学習の充実と、生徒との人間関係を重視した授業を推進する。
- ・相互授業の見学や情報交換、研修などにより授業力向上を図る。

(3) 特別活動

- ・学校行事において、役割分担などを設定し個人の能力向上の育成を図る。
- ・大島の自然を体感し、地域との連携を図り、地域貢献活動を実施する。

(4) 生活指導

- ・授業前行動等の時間厳守を意識した指導を推進する。
- ・セーフティ教室、薬物乱用防止教室や健康講座、食育講座により、心と体の健康や安全教育、生命尊重の教育を推進する。

(5) 進路指導

- ・進路希望に応じた面接指導や補習・講習・小論文指導等を行い、進路実現を図る。
- ・キャリア教育全体計画をもとに進路指導を組織的に実施する。

(6) 健康・安全

- ・スクールカウンセラーや専門医派遣事業を活用し、教育相談担当教員、特別支援教育コーディネーター、担任など、それぞれの立場や役割を分担して組織的な相談体制を充実させる。
- ・様々な設定の避難訓練を計画的に実施し、救急救命教室により、生徒の危機状況対応能力を育成する。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 6人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思えない	そう思わない	分からない	無回答
4	1	1				

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回

【成果】 なし